

がんばる農家プラン

～青砥文章がんばる農家プラン～

作成年月 平成27年度6月

作成者 青砥 文章

がんばる農家プラン

作成者 青砥文章

事業主体 青砥文章

はじめに（プラン作成に至った経緯）

現在は、日南町 地区、 地区で水稲 653.6a, ピーマン 20.8a, 蕎麦 68.8a を栽培しており、個人作業中心に繁忙期には地域雇用を行っている。また、生産物のほとんどは、JAを通して販売を行っている。

今回、がんばる農家支援事業に取り組む前に、平成 27 年度に認定農業者に認定（更新）して頂きました。前回県補助事業（チャレンジプラン）では、田植機とコンバインを導入することが出来、ほぼ計画通りの田植え刈取り作業が出来ています。水稲は、計画以上の規模拡大が出来ましたが、最終作業の米選別で天気模様により左右される、消毒作業、除草剤散布が遅れる事も起き選別悪くなり米の中にカメムシ被害、クサネムの実の混入等で一等米比率 50% 以下になり売渡価格で 70 万円程安くなってしまったため、再度色彩選別を掛ける手間経費が 26 年度 15 万円かかりました。米を移動させ袋詰めした米を再度開封して作業するより自宅で乾燥 糲摺り 色彩選別 計量と一連で作業が出来たら手間経費の削減が出来、価格低下もなくなります。私に乾燥調整を依頼する地域住民の要望もあり、協調を図り得ながら農地の保全に努め規模拡大及び経営安定を目指したいと考えています。

1 生産経営の現状・課題

1) 生産経営の現状（平成 27 年）

- 農地 746.0a（所有地 105a 借入地 741.0a）
- 水稲 653.6a（内、特別栽培米（日野特栽培）402.3a）
（コシヒカリ 402.3a ひとめぼれ 8a ヒメノモチ 92.0a 備蓄米 151.3a）
- 蕎麦 68.8a
- ピーマン 20.8a
- 受託作業 耕耘、荒代、植代 各 240a；育苗 108a、田植 240a
稲刈 350a 予定
- 保有機械
 - ・トラクター 35PS 1台
 - ・コンバイン 43PS 61PS 各1台
 - ・動力噴霧器 1台
 - ・糲摺り機 4インチ 1台
 - ・キャリアカー 2t車 1台
 - ・田植機 6条 1台
 - ・軽トラック 1台
 - ・乾燥機 20石 35石 各1台

※H27 年は鳥取西部農協ピーマン生産部長を任務

2) 課題等

現在、稲刈り作業が自作地 653.6a、作業受託 350a で計 1003.6a 行っています。適期で斑点米カメムシ防除作業が出来た場合良いですが、天候に左右され遅れた場合には発生します。またクサネムという雑草は除草剤の効きも悪く、混入したら選別機で取れないので色彩選別機でないと除去できません。昨年度（26 年産）色彩選別を委託したお金が 15 万円かかりました。手間労賃を考えると自宅で一連作業を行う事で省力化になり、一等比率も上がり価格が安定してくるという好循環になります。品質劣化を招かないようにし、食味アップを狙い消費者に喜ばれる米を生産したいと思います。

また、ピーマンについては、水稻の規模拡大に連れ手が回らなくなることがあります。特に収穫作業は毎日に及ぶため、労力の確保が必要です。

2 生産経営等の改善内容（目標）と効果

1) 改善内容

① 色彩選別機導入

色彩選別機を導入し、品質向上（一等米）や作業効率向上を図り規模拡大に努めます。

② 規模拡大

地域の要望に応え小作や水稻受託作業面積を増やししながら、団地ごとに品種を統一する等、作業効率を考慮し効率的な水田利用を図る。「ひとめばれ」は、備蓄米で対応します。

③ 特別栽培米（日野特裁）

平成 21 年は 298.1a で、平成 27 年は 402.3a まで増反しました。備蓄米、ヒメノモチが増えたので特裁米の面積が一定しています。

④ 農福連携の取組み

手が回らないピーマンの収穫作業は単純作業なため、作業所と連携して農福連携に取り組み障害者の方々に作業をしてもらおうつもりです。

⑤ 拍動型灌水装置の設置

ピーマンの灌水を自動で行ってくれる装置です。普及所の提案で H26 年は試験的に設置しましたが、H27 年からは本格導入し完全自動で行います。灌水施肥作業の軽労化に繋がります。

2) 事業の効果及び目標

① 品質向上でお客様の苦情もなくなり受託依頼の確保が有利になります。

② 特別栽培農産物の栽培による環境に配慮した農業の推進に努める。

③ 消費者との交流を模索し、特別栽培米を販売して所得の向上を図る。

<目標値>

項目	現状 (H26)	1年目 (H27)	2年目 (H28)	3年目 (H29)	目標 (H30)
水稲栽培	637a	653.6a	700a	790a	850a
ピーマン栽培 出荷量	3,310kg	5,000kg	5,500kg	5,500kg	6,000kg

3. 目標達成に向けた取り組み（年次別の行動計画）

項目	内容	H27	H28	H29	H30
規模拡大	集水稲、転作等作付面積の増	○	—	—	→
ピーマン栽培	省力・軽労化	○	—	—	→
色彩選別機一式の導入	がんばる農家プラン事業で導入	◎			

※ ◎は県、町の支援が必要なもの（がんばる農家プラン事業）

4. 機械・作物の年次別計画

年度		平成26年 (現状)	平成27年 (1年目)	平成28年 (2年目)	平成29年 (3年目)	平成30年 (最終年)	
機械・施設導入計画	計画		色彩選別機の導入 (3,259千円)				
	実績						
対象作物の生産計画	計 画	水稲	637.9	653.6	700	790	850
		内特栽米	464.6	402.3	450	540	600
		そば	48.5	68.8	48.5	48.5	48.5
		ピーマン	20.8 (1,100本)	20.8 (1,200本)	20.8 (1,300本)	20.8 a (1,400本)	20.8 a (1,500本)
		受託作業					
		耕起	240	240	200	200	200
		代掻き	240	240	200	200	200
		植代掻き	240	240	200	200	200
		育苗	87	144	144	144	87
		田植	240	240	200	200	200
		刈取	350	350	350	350	350

5. 支援事業の内容

(単位：千円)

内容	事業費				負担区分
	H27 (1年目)	H28 (2年目)	H29 (3年目)	H30 (目標年)	
色彩選別機一式	3,259				県 1/3 町 1/6 本人 1/2

※補助残部分は自己資金で対応

規模決定根拠

	能力	メンテナンス	作業能力
色彩選別機	4インチ対応	易 設計寿命 40,000時間	40袋/1時間
パッケージコンプレッサー			色彩選別機対応 メーカー指定